



技術士だより

(社) 日本技術士会九州支部・九州技術士センター秋季号<第37号> (平成10年9月15日) 発行

卷頭言

技術士資格に助けられて37年

黒瀬 正行 (建設部門登録1323号)
(九州支部顧問)

私の技術士登録は1961年11月10日、当時の科学技術庁長官は佐藤栄作です。新居浜高工（現愛媛大学）の冶金科を卒業し、神戸製綱に入社した私は、間もなく軍隊、陸軍航空技術将校として関東軍司令部に赴任、満州における航空兵器の現地製作案の策定を手がけ、纏め上げたところで終戦を迎え、同年11月よりソ連シベリヤへ抑留されました。

苛烈な抑留生活から解放され帰国した私に、戸田組（現戸田建設株）の福岡支店長から、「冶金の出身なら地質のことは解るだろう」と紹介され、九州電気通信局から九州主要都市における電報電話局の建設予定地の地質調査を依頼されました。しかし、建築基礎としての地盤と鉱山地質とは似て非なるものであり、昭和27～28年当時は、建築基礎に関する基準も無い状態でした。ほとほと困り果てた私は、九州大学内田教授の門戸を敲き、土質の基礎から勉強をはじめました。テルツアギーペック、チェボタリオフ等当時まだ翻訳されていない先進諸国の土質力学、基礎に関する本を読み指導を受けました。おかげを持ちまして、4～5年の後、電報電話局約11箇所にも及ぶ調査は無事終了することができました。

特に、柳川大川電話局の場合、有明海沖積層特有の軟弱地盤層上にあり、その層厚が40～50mにも及ぶため、当時の土木技術、機材では杭による支持は不可能であり、地盤改良材による締め固めも現実味のある方法ではありませんでした。私は冶金出の利を生かし、鉱物選別法の一つである浮力の利用を思いだしました。即ち、水に浮いた物（有用鉱物）は浮力を失えば相対的に重く（沈降）なる。地盤内の水を抜くことによって浮力による 1 tf/m^3 の荷重をかけることが出来ると考えた訳です。それはあたかも豆腐から水を抜いて、高野豆腐の様に固くしていくもので、今日では、サンドドレーン工法等数多くの技術が確立されています。然し当時は、いわゆる“重し”を何でかけるのか？といった課題が残されており、結論的には、飽和した軟弱層上部の水位を下げれば、水位低下した部分の土が重くなるという原理から、当時日本での施工事例がほとんどない透水係数の低い地盤から排水する“ウエルポイント”工法を内田先生、九州電気通信局と協議の上採用することとなりました。

結果は成功裡に終わったのですが、請負をしていた大手ゼネコンからは「こんな訳のわからん技術には金など払えない」と言われ、悲惨とも悲嘆ともつかぬ心境でした。私の土質力学に対する

1人でも多くの方の入会をお勧め下さい

る理解力を何とか証明することは出来ないものか。日頃の研鑽の糧として、社会への技術の応用として何か方法はないか。必死になっていた矢先、ふと新聞の記事で技術士の制度・資格を見つけ、建設部門に土質基礎部門があることを知り、1960年挑戦となった訳であります。合格の時、自身の天にも昇る気持ち、内田先生が新聞発表を片手に飛んできてくれたことは、今でも忘れ得ぬ一生の思い出です。

あれから37年、自らの日々の是としてはもとより、当時の第一復建轟社長を担いでの技術士会九州支部の創設、自らも2代目支部長、本部理事、本部副会長を歴任させていただき、さらには、土質技術により黄綬褒章を賜ったことは、技術士という資格がまさに私にもたらした喜びに他なりません。

技術士法 第1条 この法律は、技術士等の資格を定め、その業務の適性を図り、もって科学技術の向上と国民経済の発展に資することを目的とする。

私の提言

技術士資格に感謝!!

筑島 昇（九州技術士センター副会長）
(大分建設)

今年のフランスでのワールドカップサッカーは数々の名場面を残して終わった。

2002年には、大分市が九州では唯一の開催地として、世界各国から、人々を迎えることになる。目下、主体工事、周辺道路工事及び河川改修工事等の関連工事が、開催に向けて急ピッチで進められている。スタジアムはサッカー・陸上兼用競技場となっており、簡易開閉式屋根を備え、可動席使用時43,000人の収容人員で、建設費は約250億円である。

主体工事は大手ゼネコンと地元ゼネコンとのJVで施工しているが、関連周辺工事の設計及び施工には、地元の建設会社及び建設コンサルタント会社が数多く参加している。私の勤務している会社もその一つであるが、ワールドカップサッカーに仕事を通じてかかわることができたことを嬉しく思っている。

県の土木設計業務等委託契約約款では、委託業務金額がある限度額以上になると、照査技術者、管理技術

者として、技術士またはRCCM等の資格が必要とされている。技術士としては、大変嬉しいことであるが、大分県内では人数が不足しているのが現状である。

照査技術者の要件として、委託業務部門ごとに専門とする事項（選択科目）については、1対1の対応、例えば委託業務が河川工事であれば専門とする事項は河川で資格を取った者となっている。現時点では有資格者の数が足りないことから、この要件は厳しい。技術士は、周辺分野の科目についても対応できる能力を保持していると思われるので、対象科目の幅を広げてもよいのではなかろうか。

技術士の資格に対し感謝するとともに、有資格者数が増えることを願うものである。また周辺分野の科目についても学習を図り、一層の自己研鑽を積むことが大切であると感じている。

平成10年度第2回理事会主議題

技術士資格の国際間相互承認・年末成案か

理事 矢野 友厚

技術士制度のもとになっている技術士法が制定されて40年が経過する。既に3万人を越す技術士が誕生し、受験応募者も年々増加しており、関係方面からの期待も着実に高まっている。

しかし、制度制定から多年を経過し、制度に対する改正の要望も指摘されて一方、近年経済社会の国際化にともない、技術者資格の国際的相互承認の動向等、制度制定当初とは異なる状況も生まれつつあり、本制度全般についての見直し検討が必要となっている。

このため、本制度の所管官庁である科学技術庁は、昨年10月、制度改正に向けた基本的考え方を検討する場として、科学技術情報課長と日本技術士会会长との技術士問題懇談会を設けた。すでに5回開催されてい

るが、これまでの検討でおよそ下図のようなイメージが固まりつつある。改正のポイントは、

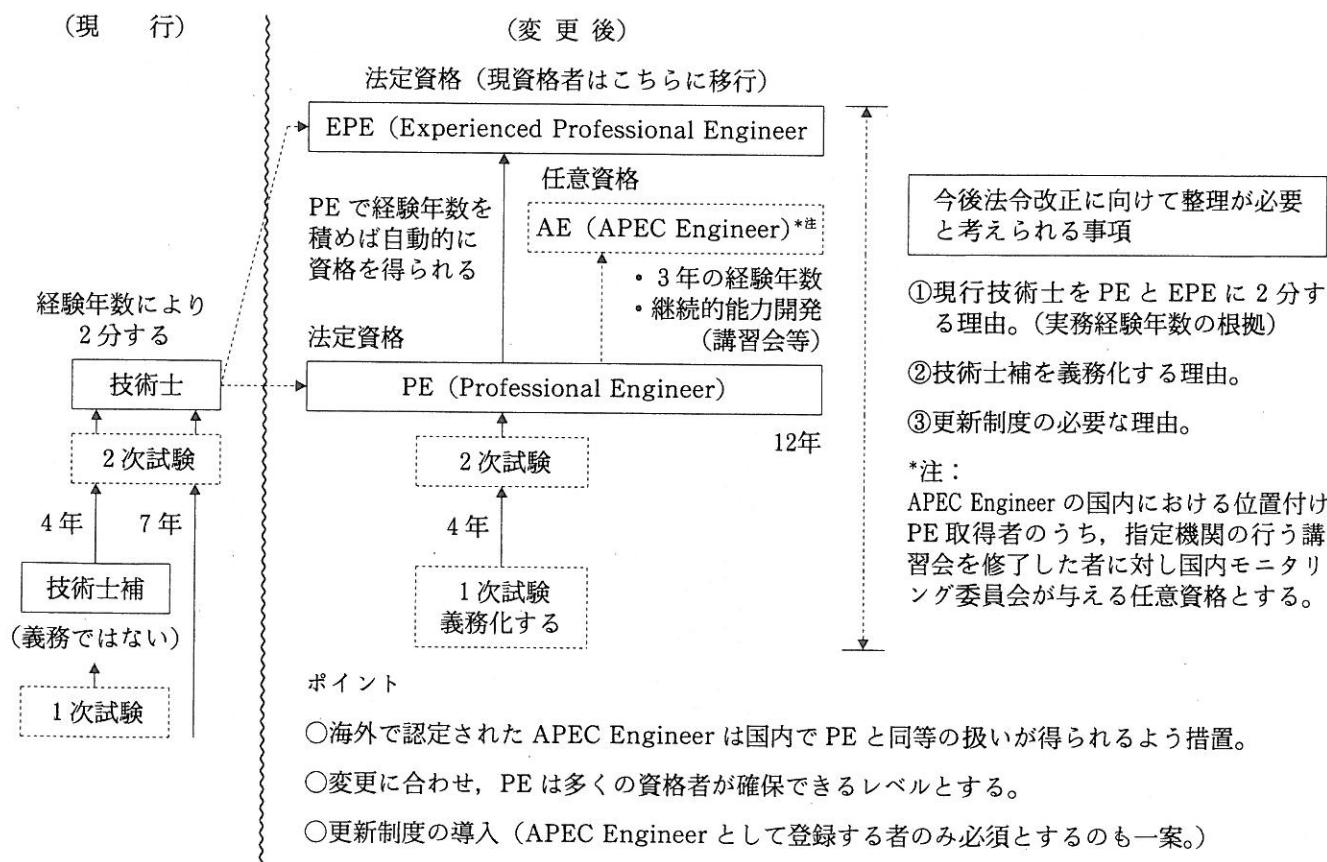
1) 4年実務経験の技術者資格を新設し、エンジニアの数に対する要望に答える。

2) 技術士補を義務化するとともに、指導技術士は不要とする。の2点である。

現在、懇談会の作業グループにおいて改正にともなうメリット・デメリット、考え方等を各検討項目について詰めている。

今後改正案が固まり次第、科学技術庁の技術者資格問題連絡懇談会（学識経験者、関係団体の代表、関係省庁から構成）に提出され、そこで検討をへて法制化される見込みである。

技術士制度の変更イメージ



支部長会議報告

川崎 迪一（九州支部支部長）

平成10年度第1回目の支部長会議が、中四国支部の当番で次の通り行われました。

日 時 平成10年6月23日

場 所 (社)日本技術士会会議室

出席者 本部 梅田会長 吉武副会長 保坂専務理事
支部 7支部の各支部長

1. 技術士関連団体（協会、センター等）について

九州、北海道、東北支部管内に地方ブロック単位である。その他の地域では県単位の団体までとなっており、それぞれの歴史やローカルカラーがあって、中身には若干の差がある。技術士活動の活性化のため各団体とも連携、協調してゆく必要がある。今のところうまくいっていて、特に問題はない。最終的には(社)日本技術士会に一本化するのが望ましいが、会費の点で問題がある。技術士の組織化およびその拡充にはそれなりの使命を果している。

2. 支部への交付金の増額について

中部支部では新たに事務所を開設し、専属の事務職員を配置することとなり、年間100万円程度の経費不足となるので、支部会員に特別負担金として1人当たり3,000円の拠出をお願いすることになった。本部からの助成について強い要望がだされた。

各支部からも財務事情が苦しく満足する活動ができないので、現行の会費の3分の1の交付の他、賛助会費、入会金等からの交付が強く要望された。

本部からは、支部の最低限必要な管理費、行事、活動等を特定して必要額を算定すべきであるとの意見が出された。

3. 技術士補の育成

APEC（アジア太平洋経済協力会議）において、技術者資格の国際整合性に基づく相互承認が検討されているが、そのなかで位置づけを考えてゆきたい。指導技術士制度は廃止、技術士補→技術士の2段階制の方向が有力である。いずれにしても何らかのメリットがあるようしなければならない。

4. 技術士部門（選択科目を含む）の再構築

問題点としては

- ① 各部門間の人数のアンバランスが大きい。
- ② 水質や環境等では複数部門で容易に取得可能。
- ③ 建設部門は選択科目が細分されすぎている。

等があり、現在の学際業際の実態に適合するように検討すべきである。

5. 災害対応調査委員会

近いうちに、本部から各支部へ「防災研究会」「防災ボランティア制度」の創設等について要請がある。各支部で受け止め方で若干の温度差があるが、何らかの対応が必要。

6. 技術士業務の開発および幹施

各支部情報交換を行ったが、支部によりかなりの温度差がある。

支部・センター行事会合報告

平成10年度事業

中四国・九州支部合同セミナー開催さる！

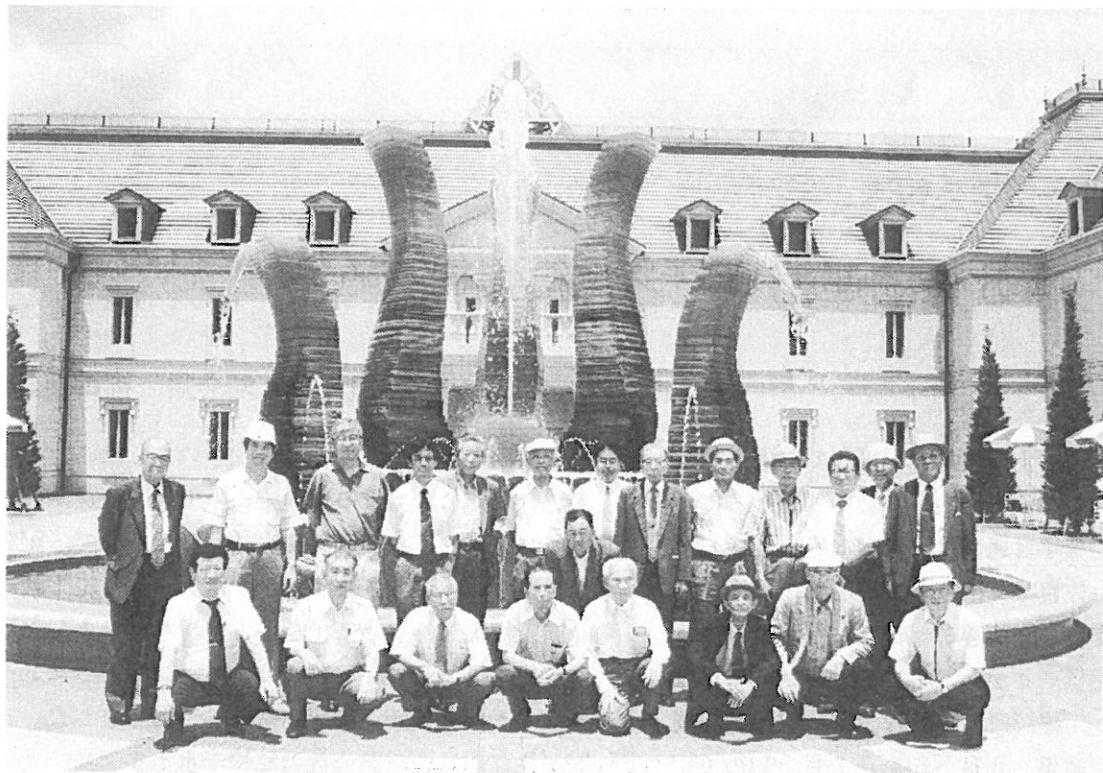
甲斐 忠義（事業委員長 福岡建設）

第27回中四国・九州支部合同セミナーが平成10年7月8日、9日大分県別府市で開催された。今回の参加者は九州支部が川崎支部長始め18名、中四国支部が森支部長始め12名の計30名であった。

「7月8日」

13時JR別府駅に全員集合後湯布院町を経由、真夏

の久住連山の雄姿を仰ぎつつやまなみハイウェイを快走し目的地九州電力八丁原地熱発電所に到着。標高が1100mのせいで大変涼しい。たまたま1号機、2号機のうち、1号機が点検中のため、地下1800mの蒸気井から豪音と共にもうもうと蒸気を噴き上げていた。11万キロワットの出力は約5万5千軒の家庭電力使用を



賄う事が出来るそうである。

本日の宿は、別府市北浜の海岸に隣接する大型ホテルである。1行は早速別府湾を見渡せる展望岩風呂でリラックス。18時30分から懇親会開始。合同セミナー常連が多く、また中四国支部会員に九州の大学卒業者がいたりして、九州支部会員と同窓と判ると俄然と盃のピッチが早くなっている光景も見える。飲み放題を予約していたせいか全員飲み過ぎ状態であった。

「7月9日」

本日はまず大分県産業科学技術センターを視察する。このセンターは、技術の高度化、先端化、ローカルテクノロジー開発への支援、人材育成、産業技術情報の提供、産官学の交流支援の機能を持っている。

センターには、電子機械が数多く設置されているが、センターチーム長の案内のもと参加者一同熱心にメモを取る。平成10年度の主要研究テーマは、先端技術広

域共同研究事業、公募型共同研究事業、一般研究事業に分かれているが、各テーマについて恵まれた研究施設の中で、着実に研究開発が進められているという印象を受けた。

ついで、(財)大分香りの森博物館の見学に向かう。大分市から国道10号、国道57号を南下すること約1時間。大分県大野郡大野町と大分郡野津原町の町境界に位置しており、世界のハーブ、香水を栽培、展示、販売している施設である。大自然に親しみ、香りを満喫し、香りの文化人となって参加者一同大満足。

合同セミナーもこれで終了。本年9月3日の新潟市全国大会での再会や、来年7月の合同セミナーでの再会、さらに来年10月20日に岡山で開催が予定されている、中四国支部主催の全国大会での再会などを約束し、大分駅で解散する。

~~~ 気楽に原稿をお送り下さい ~~

### 「技術士の声」原稿募集

「技術士だより」から、みんなの気持ちが溢れて、生きいきした息吹きがほとばしるようにしたいと思います。それでなんでも結構ですから、原稿をお送りください。例えば、

①なぜ技術士になったのか。

②技術士になって判ったこと（よかった点、不足に思うこと etc.)

③技術士としてこんな仕事をやりとげた。

④いま、仕事のうえで悩んでいること。

⑤技術士の組織に望むこと。

その他にもいろいろあると思います。気軽に気持ちを書いてみてください。800~900字程度。

送り先は事務局。 FAX (092)432-4442です。

## 部会報告

### 第2部会 研修見学会報告

#### 3径間連続ピーシー斜張橋を見る

清水 博和（第2部会長 福岡建設）

昨年は、第24回技術士全国大会が福岡で開催されて多忙のために余裕がなく、現地研修会を開催するに至りませんでした。今年は適当な現場がないかと探していましたところ、佐賀県鳥栖土木事務所で、筑後川に架設中の天建寺橋が3径間連続ピーシー斜張橋という珍しい型式の道路橋ですから、中央径間の結合時期はいつ頃になるのか、福岡県の道路建設課橋梁係長を通じて問い合わせた結果、6月下旬から7月上旬の予定であるという情報でしたので、7月2日（木）に決めて部会員に通知しました。

博多駅筑紫口のバス駐車場を10時10分出発、福岡北九州高速道路公社4号線の現場を見学、途中、新聞紙上に報道された4号線の橋脚3基の修復が立派に完了しているのを確認して、福岡ICから鳥栖土木事務所

で佐賀県組6名を加えて現場に向かいました。

天建寺橋では、当日の午前中に中央径間の連結部の最後のコンクリートの打設を完結したところで、記念すべき日に見学ができました。またビデオで施工計画や、施工状況等も見せて頂き、よく理解できました。右、左の主塔からのケーブルの調整、プレキャストセグメント工法のご苦労等感銘を深くいたしました。

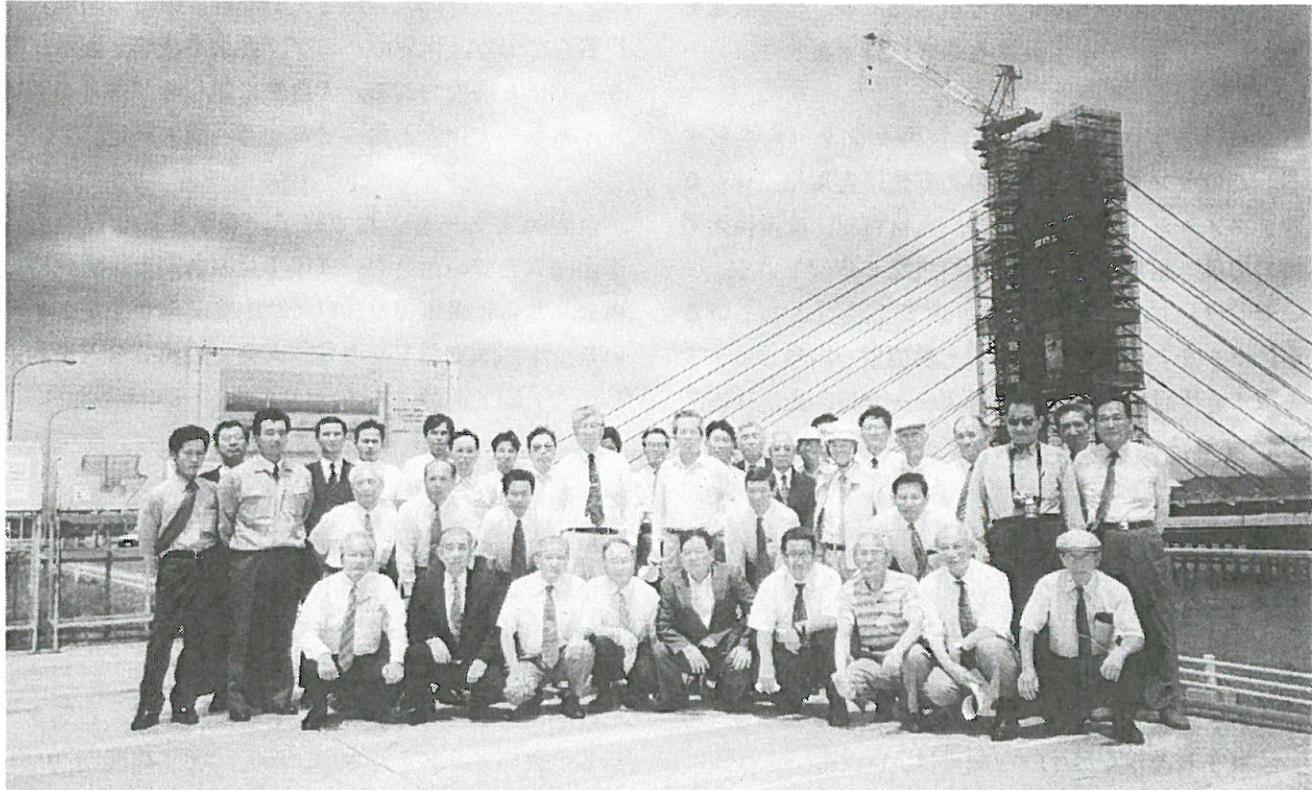
福岡北九州高速道路公社の船津一水工事課長

鳥栖土木事務所の村岡輝男工務課長

施工業者の現場責任者の方々

のご協力を心から感謝申し上げて報告といたします。

参加人員は福岡から34名、鳥栖から6名、合計40名となりました。



研修見学会参加者一行

## 第3部会 研修会報告

### 北原、皆良田両先生の講演

本田 整（第3部会長 北九州金属）

7月4日、博多第一ホテルで第3部会を開催した。今回は、北原先生が、技術士会会長表彰を受けられたので、その記念講演会ということを含めて実施した。

参加者は、第3部会員10名で、古賀事務局長と長崎の黒瀬先生に参加して頂いた。

講演会は、先ず、皆良田先生から、「鋳造による耐摩耗複合材料の製造」という演題でご講演頂いた。内容は、鉱石等を破碎するジョウクラッシャの刃の開発に関するもので、刃材としては30%クロム鋳鉄が適しているが、この材料は脆いという欠点がある。そこで炭素鋳綱と複合化することを考えられ、先ず、クロム鋳鉄を鋳型に鋳造しておき、一定時間経過後に鋳綱を鋳造して鋳型の中で複合材料を製造する方法である。本法は、鋳鉄と鋳綱の融点の差を巧みに利用した製造法であり、興味深かった。製品は、ユニハードという商品名で、現在、20トン／月生産されている。

北原先生のご講演は、先ず、ご経歴の説明から始められ、ゴム接着、セメント接合ならびに汚泥処理技術を身に付けられた経緯、技術士会でのご貢献等について述べられた。

次に、先生が兼ねてから関心を持たれている「廃棄物処理とその活用について」という演題のご講演を頂いた。ご講演の内容は、各種の廃棄物処理について概観されると共に、汚泥処理については、ご自身の実験に基づいた詳細なご説明があった。廃棄物処理は、極めて今日的な問題であり、かつ、それらを再利用するという件に関しては、最も理想的な処理の方法であり非常に示唆に富むご講演であった。

第3部会の今後の行事としては、10月に北九州技術士会との合同部会、11月に鳥栖工業技術研究所の見学、12月に博多での部会を予定している。

## 第4部会 研修見学会報告

### 御笠川浄化センターを見る

真鍋 和義（福岡・水道）

平成10年7月29日（水）第4部会の技術研修見学会が、福岡県御笠川・那珂川流域下水道の御笠川浄化センターにて、15名の参加により行われました。

御笠川浄化センターでは昨年より汚泥の溶融施設が稼動しており、(財)福岡県下水道公社参事の平古場氏から施設の説明を受けた後、水処理施設と汚泥溶融施設を見学しましたが、印象に残ったことを列記します。

- 水処理施設は順次建設しており、新しい系列では嫌気・好気法を採用している。
- 嫌気・好気法の系列を見学したが、最終沈澱池では底部が見えるほど透明度が良かった。生物反応槽の負荷は低いとのこと。
- 完全分流式であるが雨天時には水量が増加し、3倍以上になることもあり苦労しているとのこと。
- 汚泥処理では、余剰汚泥を遠心濃縮し消化槽に投入しているが、発泡により当初はかなり苦労したとの

こと。なお発泡による障害は卵形消化槽の方が大きかった。

- 汚泥溶融施設では、ベルトプレスフィルターにより水分80%位に脱水した汚泥を水分20～30%位に乾燥した後、溶融炉に投入し、1300～1500℃の高温で溶融するとスラグとなる。溶融熱源には、汚泥中の有機物の燃焼熱を利用し、補助燃料はほとんど必要ない。
- 生成スラグは現在のところ処理費を出してセメント会社に引取ってもらっている。骨材等の有効利用も考えているが、品質が安定せず難かしい。
- 発生汚泥全量は溶融できず、油温減圧方式による乾燥施設を建設中。

なお見学会終了後、竹下のアサヒビール園にて懇親会を行い、ビールをたらふく飲んで名残を惜しみつつ散会しました。

# ◇(社)日本技術士会九州支部・九州技術士センター

## 平成10年度 第一回合同役員会

日 時：平成10年 6月27日（土） 13:00～16:00

場 所：福岡商工会議所 605号室

出席者：

(九州支部) 支部長、副支部長、監事、幹事、地区代表幹事、常設及び特別委員会委員長、各部会長  
(センター) 会長、副会長、監事、理事、常設委員会委員長

### 1. 支部長、会長挨拶

(1) 会員増加と現況

平成9年度中 支部会員 82名増

センター会員 102名増

会員総数（含準会員）1,028名

賛助会員総数 123口

(2) 事務局の移転拡張

5月17日 新事務所に移転（5坪→10坪）

(3) 日本技術士会総会報告

平成10年度会長表彰の受賞のため上京した重富センター会長より、6月25日に行われた(社)日本技術士会定期総会並びに本部の動向について報告があった。

### 2. 平成10年度事業計画（川崎支部長）

具体的実施項目は下記の通り。

- (1) 会員増強（含賛助会員）を協力に推進する。企業内技術士会（含官公庁）の組織化を図る。
- (2) 社会及び地域のニーズに応えて技術士業務の開発、拡大、強化に努める。
- (3) 地域、海外交流、異業種交流を積極的に行う。
- (4) 講演会、研修会を外部団体にも開放し、PRと交流に務めると共に、会員資質の研鑽を図る。
- (5) 情報化社会に対応出来るよう情報機器を導入、効率的な事務処理により事務局機能の強化を図る。
- (6) 編集委員会を強化拡大して常設の広報委員会とし、「技術士だより」の内容の充実を図る。  
「インターネット」による会員各位との交流、外部へのPRに努める。
- (7) 技術士第二次・同第一次試験（福岡会場）の実施：支部担当
- (8) 技術士受験対策講座：センター担当

- (9) 「地域産官学と技術士合同セミナー」の実施
- (10) 各委員会、地区、部会ごとに研修会、見学会等を開催し会員の研修、研鑽、啓発に努める。
- (11) 技術士補の育成を推進する。
- (12) 特別委員会「業務開発委員会」を発足させる。

### 3. 常設・特別委員会平成10年度事業計画

本年度特に実施する項目・変更のあった項目のみを記載、通常実施業務は省略する。

(支部委員会)

- (1) 試験管理委員会（斎藤委員長）  
第二次試験会場変更：九大工学部→九州産業大学  
実施日：8/26・27
- 第一次試験会場：東和大学（従来通り）  
実施日：10/11

(2) 事業委員会（甲斐委員長）

- ① 九州・中四国合同研修会：7/8～9 九州電力八丁原地熱発電所、大分県産業科学技術センター、香りの森博物館等見学
- ② 「地域産官学と技術士合同セミナー」：11/13
- ③ 第五回「西日本技術士研究・業績発表会」（北九州地区担当）
- ④ 沖縄県技術士会との親睦交流会：平成11年2月予定

(3) 広報委員会（完戸委員長）

従来からある「編集委員会」と、「情報化推進委員会」を広報委員会として今年度から発足

- ① 「技術士だより」
  - (イ) 事業報告の外、情報推進広報、企画、会員投稿などの個別記事を重点に掲載
  - (ロ) 平成10年9月15日発行（37号）より印刷の全面的外注の実施
- ② 部内対象広報活動
  - (イ) インターネットの活用：ホームページ設定、及び支部と会員間の情報網の整備
  - (ロ) FAX活用：情報、連絡に広範囲なFAXの積極的活用
  - (ハ) 外部情報の活用：各県情報センター、官庁、各種団体発信情報の利用

③ 部外対象「技術士」PR活動

- (イ) ホームページの活用：九州支部・九州技術センターのPR
- (ロ) 主催事業の宣伝、広報：技術士試験の情報、外部に開放した講演会等の案内
- (ハ) 広報資料の作成や整備

(4) 総務委員会（田中委員長）

- ① 会員技術士対象の「情報化」教育の実施：「シニア」技術士のための「コンピュータ」教室の開催 9～10月頃
- ② 事務合理化（情報機器利用）の検討
- ③ 各委員会活動の支援

（センター委員会）

(5) 業務企画委員会（笠木副会長）

- ① 会員増強に関する活動
- ② 賛助会員に対するサービスの向上

(6) 普及啓発委員会（光岡委員長）

技術士二次試験講座：

筆記試験対策講座 4/18, 6/13, 6/20, 7/20  
口述試験対策講座 11/21

(7) 研修委員会（篠島副会長）

沖縄県技術士会との交流（事業委員会との共催）

(8) 活性化委員会（斎藤<sup>清</sup>委員長）

- ① 技術抄録の準備：平成11年度発行を目指す
- ② 地区問題を議題とする技術士フォーラムの開催

（特別委員会）

(9) 業務開発委員会（泉館委員長）

技術士業務開発のため、官公庁、裁判所、地方自治体、公共団体（商工会議所、医師会、弁護士会）、関連企業（銀行、損保等）に積極的に接触し技術士業務の開発を行う。具体的には、

① 工学鑑定業務

PL問題等での裁判や損保における技術問題に関する鑑定業務の実施

② 自治体における監査業務

充分な技術スタッフを持たない中小自治体において、工事監査等の公的業務の支援の実施

③ 公共団体におけるコンサルタント業務

(イ) 公共団体等の要請による、中小企業に対する技術的相談業務

(ロ) 海外技術支援団体等よりの要請による、技術コンサルタント業務

#### 4. 地区平成10年度事業計画

(1) 福岡地区技術士会（笠木代表幹事）

- ① 本部、支部、センターの事業活動を支援し積極的に参加する
- ② 各種団体との交流に積極的に取組む
- ③ 地区振興に密着した業務の充実・強化に努める
- ④ 見学会・研修会を通じ技術士会の活性化を図る
- ⑤ 会員及び賛助会員の増強を推進する
- ⑥ 本部・支部・センターの活動を通じ、技術士の知名度向上のためのPRを実施する
- ⑦ 部会活動への協力と参加をする
- ⑧ 「YEC福岡」の活動を支援し、青年技術士の活性化を推進する
- ⑨ 技術士資格取得を目指す技術者の支援を行う

(2) 北九州地区技術士会（泉館代表幹事）

- ① 会員の技術力向上、異種技術の交流・融合を図るため、月1回地区例会を開催、他に年2回程度の見学会と研修会・懇親会を兼ねた総会を行う
- ② 技術士業務の開拓に積極的に参加
- (イ) 国際事業団（JICA）、九州国際技術協力会（KIT）の研修事業の講師として参加する
- (ロ) 北九州テクノセンター事業に専門家として参画する

(ハ) 北九州商工会議所技術アドバイザーとして中小企業向けの相談に対応する

③ 支部活動への積極的参加

(イ) 公的業務支援小委員会（→業務開発委員会）、情報化小委員会（→広報委員会）活性化委員会に参加する

(ロ) 各部会との行事の共催活動を行なう

(ハ) 技術士二次試験説明会と総合研修指導を実施

(ニ) 技術士一次試験受験者の増加を図り、高専・大学を対象に技術士補のPRを実施する

④ その他

(イ) 21世紀に向けたプロジェクトチームの発足

(ロ) 九州工学鑑定 / 工学鑑定分科会の結成を検討中

(3) 佐賀県技術士会（藤永代表幹事）

- ① 各種団体との交流や共同事業・研究に積極的に取組む
- ② 見学会・研修会による活性化を図る
- ③ 技術士補の育成及び将来技術士を目指す技術者に対する懇話会の開催、CE塾の継続
- ④ 技術士試験申込書配布説明会を実施する

- (5) 新規合格者の祝賀会を実施する
- (4) 熊本県技術士会（吉田幹事）
- ① 地域の振興に密着した技術士業務の充実強化と業務の拡大に努める
  - ② 会員の親睦を深め、会の運営の充実を図る
  - ③ 技術士第一次・同第二次試験の案内及び説明会等を開催する。
  - ④ 土木学会主催「土木の日」の事業の支援活動
- (5) 長崎県技術士会（山口幹事）
- ① 長崎県技術士会総会研修会（県土木部長の講演）を開催：6月15日
  - ② 技術士第一次・同第二次試験のポスターの配布及び受験申込書の配布を行う
  - ③ 講演会（または研修セミナー）の実施：11月～年度末を予定
  - ④ 県技術士会員によるレポート、提言集の作成と配布：11月～年度末を予定
  - ⑤ 県技術士会会員名簿発行：12月～1月を予定
  - ⑥ 忘年会または新年会を兼ねた研修会：12月または1月に実施する
- 注：なお、産・官・学内の会員増強と交流を図るために、特に長崎大学及び長崎総合科学大学への働きかけを強化する
- (6) 大分県技術士会（篠島代表幹事）
- ① 技術士及び技術士活動のPR  
地域振興に密着した活動の充実強化と業務の拡大を図り、年2回大分合同新聞に広告を掲載
  - ② 九州支部・センター実施の各部門の研修会・見学会への積極的参加
  - ③ 技術士第二次・同第一次試験の案内及び受験希望者に対する技術士による個人指導
  - ④ 九州・中四国合同研修会（於、別府）の支援と積極的参加
  - ⑤ 大分技術開発プロジェクトチームへの協力  
一昨年機械部門技術士を中心に発足した同プロジェクトチームの業務拡大への積極的協力
- (7) 宮崎県技術士会（新城代表幹事）
- ① 会員相互の交流、懇親を深める
  - ② 技術士のPR、会員増強へ積極的に取組む
  - ③ 九州支部・センター主催行事への積極的参加
  - ④ 技術士第二次・同第一次試験願書配布、説明会
  - ⑤ 県技術士会総会（講演「ISO-9000, 14000」：岩切重人）及び懇親会 10.4/23
  - ⑥ 会員相互の親睦のための忘年会・ゴルフコンペ
- (8) 鹿児島県技術士会（黒岩代表幹事）
- ① 技術士会本部・支部の事業活動に積極的に協力
  - ② 研修会、講演会の実施  
技術士にふさわしい内容のものを、青年部会を中心とし技術士会単独、または関係諸団体と共に催す
  - (イ) 平成11年度予定のシンポジウム開催準備
  - (ロ) 現地研修会の開催
  - (ハ) 技術研修会及び研究発表会等の開催
  - ③ 県技術士会会員名簿を作成し、会員及び関係諸機関に配布PRに努める（1,500部、7/1発行）
  - ④ 会員相互の親睦のため年4回の親睦会の開催
  - ⑤ 鹿児島県技術士会設立10周年記念大会の開催（10月上旬）

## 5. 部会平成10年度事業計画

- (1) 第一部会
- ① 研修会：(イ) 第一回 9月下旬 講師2名  
(ロ) 第二回 11年2月上旬 講師2名
  - ② 研修見学会 11月中旬 場所未定
- (2) 第二部会
- 研修見学会
- (イ) 福岡都市高速道路4号線工事現場
  - (ロ) 天建寺橋（斜張橋）工事現場（7/2実施）
- (3) 第三部会
- ① 研修会
- (イ) 「産業廃棄物とその応用」  
講師 北原徳雄（化学）  
「鋳造による耐摩耗性複合材料の製造」  
講師 皆良田征夫（金属）（7/4実施）
  - (ロ) 「高温・高圧機器用構造材料」  
講師 本田 整（11/16予定）
  - (ハ) 題名：未定 講師 高井一也氏ほか1名  
(12月予定)
- ② 研修見学会 鳥栖工業技術研究所（11月予定）
- (4) 第四部会
- 研修見学会
- (イ) 「汚泥溶融設備」：福岡市御笠川浄化センター  
(7/29実施)
  - (ロ) 「コークスベッド式ガス化溶融爐」：飯塚市清掃工場  
(11月中旬予定)
- (5) 第五部会
- 研修見学会：他部会と共に
- (6) 第六部会
- 研修見学会：2～3月を予定

## 第一回地域産官学と 技術士合同セミナー(ご案内)

### 九州の産業振興・環境対策と 技術士の役割

開催月日：平成10年11月13日（金）

セミナー 13:00～17:00

交流会 17:15～19:00

会場：博多パークホテル

福岡市博多区博多駅前4-11-18

TEL (092) 451-1151

参加人員：150名

企業関係者・大学研究者・官公庁担当職員

技術士会会員・その他関係士業団体

参加費用：5000円 [セミナー2000円（資料代）]  
[交流会3000円]

主催：(社)日本技術士会九州支部

共催：九州技術士センター

後援：通商産業省九州通産局・建設省九州地方建設局・福岡県商工部

協賛：福岡県産業・科学技術振興財団・福岡県中小企業診断士協会・(社)発明協会福岡県支部・日刊工業新聞社西部支社

#### セミナーパート

1. 基調講演 13:00～13:30

テーマ 「地域技術政策をめぐる環境変化」

講師 通商産業省九州通商産業局産業部長

菅沼 義夫氏

2. 基調報告 13:30～14:15

テーマ 福岡県産業・科学技術振興財団の紹介

講師 福岡県産業・科学技術振興財団（IST）

研究開発部長 大田 修明氏

3. パネルディスカッション 14:30～17:00

テーマ 中小企業の新技術の創造と技術士の役割

コーディネーター

①黒瀬 正行技術士（建設）九州支部顧問

パネリスト

②技術士（衛生）県立富山大学 元教授 川崎 軍治氏

③大分大学工学部応用化学科 教授 武内 隆氏

④サワテック（株）社長 藤田 榮氏

⑤福岡県商工部新産業・技術振興課長

⑥技術士（機械）福岡県工業技術センターアドバイザー 山谷 三郎氏

⑦建設省九州地方建設局

⑧日刊工業新聞社西部支社長 岸本 信夫

4. 交流会 17:15～19:00（講師と参加者）

5. 当日の配布資料

セミナー資料、福岡産業・科学振興財団パンフレット、建設省新技術活用促進システムパンフレット、福岡県の中小企業支援パンフレット

### 平成10年度技術士試験受験申込状況

#### 第二次試験

筆記試験日（建設） 8月26日

〃（その他の部門） 8月27日

| 技術部門     | 福岡    |       | 全国     |        |
|----------|-------|-------|--------|--------|
|          | 平成9年  | 平成10年 | 平成9年   | 平成10年  |
| 1. 機械    | 47    | 42    | 836    | 822    |
| 2. 船舶    | 3     | 2     | 9      | 9      |
| 3. 航空・宇宙 | 0     | 0     | 28     | 34     |
| 4. 電気・電子 | 51    | 61    | 1,564  | 1,440  |
| 5. 化学    | 7     | 5     | 204    | 217    |
| 6. 織維    | 1     | 1     | 82     | 74     |
| 7. 金属    | 4     | 7     | 139    | 142    |
| 8. 資源工学  | 1     | 2     | 26     | 25     |
| 9. 建設    | 1,562 | 1,693 | 18,182 | 20,149 |
| 10. 水道   | 153   | 152   | 1,874  | 2,030  |
| 11. 衛生工学 | 52    | 57    | 869    | 1,021  |
| 12. 農業   | 134   | 153   | 990    | 1,243  |
| 13. 林業   | 20    | 27    | 200    | 248    |
| 14. 水産   | 17    | 23    | 181    | 198    |
| 15. 経営工学 | 8     | 10    | 242    | 283    |
| 16. 情報工学 | 9     | 24    | 559    | 646    |
| 17. 応用理学 | 133   | 134   | 1,170  | 1,258  |
| 18. 生物工学 | 1     | 1     | 32     | 39     |
| 19. 環境   | 46    | 46    | 607    | 626    |
| 計        | 2,249 | 2,440 | 27,794 | 30,504 |

#### 第一次試験（福岡）

試験日 10月11日

|      | 平成9年 | 平成10年 | 増  | 対前年    |
|------|------|-------|----|--------|
| 共通科目 | 118  | 144   | 26 | 122.0% |
| 専門科目 | 558  | 601   | 53 | 107.7% |
| 計    | 666  | 745   | 79 | 111.8% |

◇全国 (対前年)

共通科目 1,432 28減 -1.9%

専門科目 7,060 524増 +8.0%

計 8,492 496増 +6.2%

# 今秋中にはホームページを開設

完戸 鶴（広報委員長 福岡農業）

今年5月に事務局にコンピューターが設置された。本体、プリンタは新城副支部長（宮崎代表幹事）のご寄贈で、Windows 95が導入してあり、新事務所に移転の際に通信施設のISDN（デジタル回線）ターミナルアダプターを設置して、インターネットにも対応できるハードウェアが完成した。一方ソフトウェアは、Windows 95の基で、マイクロソフト社のword 97, excel 97, および一太郎が使用でき、さらにマイクロソフト社のaccess 97を追加した。またインターネット用のソフトも導入されていて、ハード、ソフトとともに進行待ちである。

そこで、広報委員会では情報化小委員会を8月3日に開き、活動開始への対応を協議、決定した。

## 1. インターネット導入

本部でも既に導入、運用されていて、支部としても独自のインターネットを導入し、広く内外に開いた体制を採る。当面は（財）福岡県企業振興公社福岡県中小企業情報センターをプロバイダーとして、その傘下に早急に加入する。

また九州技術センターも同じくインターネットを導入するが、支部とは別個のホームページを開くべきなので、別のプロバイダーとする。この場合は加入経費が安価なところをじっくりと探すこととする。

## 2. ホームページ体系

支部・センターそれぞれ独自のホームページを策定するが、その体系図は右表の通りで、支部については支部独自の事業案内、情報、なかでも技術士試験事務取扱い関連紹介に、また、センターについては加入案内、受験講習に重点をおき、どちらも内外に広く開かれたリンク体制を採る。

## 3. ガイドライン

支部・センターともに本部のガイドラインを準用、厳守する。（「技術士」10年5月号22頁参照）

## 4. ページの作成

各委員が分担して9月半ばまでにまとめあげることにする。

## 5. 開設時期

同時に本部に対する登録申請、およびリンクの調整を進め、今秋中にはインターネットの導入、ホームページの開設を完了する目標である。

### （社）日本技術士会九州支部 ウェブページ体系図

#### 九州支部ホームページ・インデックス

九州支部の概要（説明文、九州支部の活動）  
リンク（科学技術庁及び日本技術士会本部）  
(技術士とは、日本技術士会とは)

#### 会員の技術士活動の紹介

#### 技術士への相談窓口（業務の内容について）

#### 技術士受験案内

リンク（科学技術庁）  
(試験の概要、本年度の試験)

#### 九州支部の試験事務取扱い

- 願書の配布
- 締め切り
- 試験場所

#### お知らせ

##### 会員へのお知らせ

（会議のお知らせ、部会行事のお知らせ）

#### リンク

- 地区からの情報とお知らせ  
(地区ホームページ)
- 他機関の催す技術講習会等の情報
- 公的機関からの技術士支援情報

#### 技術士だよりのページ

#### 会員相互の掲示板

#### リンクリスト（技術士関係）

### 九州技術士センター ウェブページ体系図

#### センターホームページ・インデックス

#### センターの紹介及びセンターの活動

#### センターへの加入案内

#### 技術士受験講習会について

- 講習会の概要
- 講習会申し込みの手続き
- 受題の願書の書き方から

#### 受験勉強の仕方について

#### 九州支部へのリンク

- センター会員へのお知らせ
- 技術士だよりのページ
- 会員相互の掲示板

(社)日本技術士会プロジェクト

## 「産業環境・エネルギー開発21グループ」発足の紹介

(略称 アイ・イード21)

グループ会長幹事 宮田 守次  
(宮田技術士事務所)

1998年6月2日付けで(社)日本技術士会より、正式に標記プロジェクトが認定され、北九州市内に発足しましたので、紙面を借りて、概要について述べます。

### 1. 背景とねらい

21世紀を展望して「環境とエネルギー問題解決」は最も重要な課題の一つであり、その課題達成には各技術分野の技術士の総合力結集が不可欠です。今後、政府や地方自治体等官公庁の業務・組織のスリム化、民間へ移行によって、調査・企画・展開サービス・フォロー等のうち、地域産業の環境・エネルギー技術関連の計画・展開業務の受け皿が必要になってくると考えられ、新しい技術士活動分野として行うことにしました。ねらいとしては、

- 1) 独立した、現役の技術プロコンサルタント「技術士事務所」として収益性の向上をめざします。
- 2) (社)日本技術士会及び九州支部と緊密な連携をとり、九州地域産業の環境・エネルギー技術の開発・改善に貢献するとともに、技術士の地位向上と、支部の発展に寄与することをねらいとしました。

### 2. 目的と事業内容

- 1) 主に福岡県を中心にして九州・山口地域の官公庁及び産業の環境・エネルギー開発・改善に関する、課

題達成のシンクタンク及び調査・企画等の受け皿としてのニーズに応えることを目的とします。

- 2) 営業・宣伝活動を行い、環境・エネルギーの技術開発・改善の課題解決を受託します。受託した業務については、会員がもつ特徴ある、専門技術を生かして分担・発注し、更にグループ全体の独創力・総合力により完成度を高めて、顧客に満足していただけるサービスとして納入します。

### 3. 会員

(社)日本技術士会会員で構成し、業務量の増加にあわせて将来は20名程度にしたいと考えています。

### 4. 所在地

〒806-0031 北九州市八幡西区熊西1-6-21  
宮田技術士事務所(ミヤタハイメック)内  
Tel 093-642-2612 Fax 093-645-2633

### 5. 入会方法

所定の様式で申込みいただき、審査の後、入会許可制とします。

会費は年会費 50,000円 / 人とします。

### 6. 設置期間

H10年6月～H13年5月の3年間とし、その後、期間更新については検討します。

多くの技術士の皆さんへの参加を希望します。



左から  
角田・宮田・高橋・山本  
北原の各幹事(事務所前)

## 会員ニュース

### ☆社日本技術士会（九州支部）入会

| (地区)    | (区分)  | (氏名) | (部門)                                                    | (上段：連絡先/下段：勤務先)<br><連絡先と勤務先が同じ場合、連絡先のみ>          |
|---------|-------|------|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 福岡 正会員  | 金子 雅則 | 建 設  | 819-0373 福岡市西区周船寺1-5-3 アメニティ周船寺403<br>勤：宇部興産㈱九州支店       | ☎(092)807-4710<br>☎(092)781-0117 Fx(092)733-0702 |
| 福岡 正会員  | 中園 孝一 | 農 業  | 839-0801 久留米市宮ノ陣町宮瀬35<br>勤：(株)テクノ                       | ☎(0942)32-4354<br>☎(0942)44-8700 Fx(0942)44-9070 |
| 福岡 正会員  | 渡部 秀樹 | 建 設  | 838-0107 小郡市希みが丘6-10-3<br>勤：(株)住友建設㈱九州支店                | ☎(0942)75-6514<br>☎(092)761-1443 Fx(092)761-6617 |
| 熊本 正会員  | 小原 和憲 | 建 設  | 869-0432 熊本県下益城郡松橋町大字久具2635<br>勤：東興建設㈱南九州支店             | ☎(0964)32-0698<br>☎(096)365-2561 Fx(096)369-3217 |
| 福岡 正会員  | 井崎 孝行 | 農 業  | 814-0113 福岡市城南区田島4-26-3-505<br>勤：(株)スリーエヌ技術コンサルタント      | ☎(092)864-9792<br>☎(092)582-3331 Fx(092)582-3333 |
| 宮崎 正会員  | 外山 真也 | 情報工学 | 880-0953 宮崎市小松台東3-17-2<br>勤：宮崎県工業試験場                    | ☎(0985)47-9115<br>☎(0985)51-7211 Fx(0985)53-8375 |
| 佐賀 正会員  | 岩尾 武洋 | 建 設  | 841-0205 佐賀県三養基郡基山町けやき台3-19-5<br>勤：(株)オリエンタルコンサルタント九州支社 | ☎(0942)92-6934<br>☎(092)411-6209 Fx(092)411-3086 |
| 大分 正会員  | 竹内 一博 | 建 設  | 870-0107 大分市大字海原491<br>勤：(株)さとうベネツク                     | ☎(0975)27-2713<br>☎(0975)37-8044 Fx(0975)38-5230 |
| 福岡 正会員  | 田沼 和夫 | 建 設  | 819-0013 福岡市西区愛宕浜4-21-10<br>勤：福岡県庁                      | ☎(092)883-0290<br>☎(092)651-1111                 |
| 長崎 正会員  | 濱田 紘  | 水 道  | 852-8124 長崎市辻町600三菱本原寮<br>勤：長菱設計㈱プラントグループ               | ☎(095)842-2828<br>☎(095)828-7703 Fx(095)828-4481 |
| 宮崎 正会員  | 國武 昌人 | 農 業  | 880-0022 宮崎市大橋1丁目201-1<br>勤：アジア農村工学研究所                  | ☎(0985)28-5997                                   |
| 佐賀 正会員  | 樋渡 常右 | 農 業  | 848-0028 伊万里市脇田町1407-3<br>勤：樋渡技術士事務所                    | ☎(0955)20-1677 Fx(0955)20-1678                   |
| 福岡 正会員  | 小出 剛  | 農 業  | 811-2413 福岡県粕屋郡篠栗町大字尾仲975-17<br>勤：(株)後藤組福岡支店            | ☎(092)948-0283<br>☎(092)741-8661 Fx(092)761-0127 |
| 福岡 正会員  | 竹原 哲郎 | 応用理学 | 816-0087 福岡市博多区三筑1-9-5-405<br>勤：日本工営㈱福岡支店               | ☎(092)575-1303<br>☎(092)475-7565 Fx(092)475-7089 |
| 北九州 正会員 | 松長 修  | 化 学  | 808-0021 北九州市若松区響町1-3<br>勤：三井鉱山㈱総合研究所                   | ☎(093)751-7715 Fx(093)771-5001                   |
| 佐賀 正会員  | 田野 慎一 | 建 設  | 840-0024 佐賀県西松浦郡有田町中部丙2351-205<br>勤：(株)青木建設㈲立日ノ峯ダム作業所   | ☎(0955)43-3253<br>☎(0954)45-5611 Fx(0954)20-7020 |
| 福岡 正会員  | 橋本 晃  | 建 設  | 819-0013 福岡市西区愛宕浜1-22-14<br>勤：千代田コンサル九州支店               | ☎(092)882-1966<br>☎(092)752-1601 Fx(092)752-1631 |
| 福岡 正会員  | 中村 拓三 | 建 設  | 813-0012 福岡市東区香椎駅東4-42-4<br>勤：(株)熊谷組九州支店                | ☎(092)671-9776<br>☎(092)521-2452 Fx(092)533-1013 |
| 福岡 正会員  | 田口 和久 | 建 設  | 811-0201 福岡市東区三苦3-18-1<br>勤：(株)オリエンタルコンサルタント九州支社        | ☎(092)411-6209 Fx(092)411-3086                   |
| 福岡 正会員  | 山田 益司 | 建 設  | 811-3223 福岡県宗像郡福間町光陽台4-10-2<br>勤： 上記に同じ                 | ☎(0940)43-7772                                   |
| 福岡 正会員  | 行武 克己 | 建 設  | 818-0036 筑紫野市光が丘1-7-10<br>勤：五洋建設㈱九州支店                   | ☎(092)926-0378<br>☎(092)781-2066 Fx(092)781-5216 |
| 大分 正会員  | 倉原 隆二 | 建 設  | 870-1106 大分市ニューエフ戸9-10<br>勤：梅林建設㈱                       | ☎(0975)69-7511<br>☎(0975)34-4151 Fx(0975)36-4151 |
| 福岡 正会員  | 川崎 巧  | 建 設  | 815-0033 福岡市南区大橋3-14-3 アーベイン大橋1008号<br>勤：(株)長大福岡支店      | ☎(092)562-5831<br>☎(092)472-3952 Fx(092)413-6630 |
| 福岡 正会員  | 江中 正宏 | 建 設  | 811-2412 福岡県粕屋郡篠栗町大字乙犬675-28<br>勤： 上記に同じ                | ☎(092)947-2282                                   |
| 福岡 正会員  | 辻 治生  | 建 設  | 812-0013 春日市春日公園1-19パークハイツ春日33-402<br>勤： 上記に同じ          | ☎(092)501-7146                                   |

## ☆九州技術士センター 入会

| (地区)   | (区分)  | (氏名) | (部門)                                            | (上段:連絡先/下段:勤務先)<br><連絡先と勤務先が同じ場合、連絡先のみ> |                                   |
|--------|-------|------|-------------------------------------------------|-----------------------------------------|-----------------------------------|
| 福岡 正会員 | 田中 衛  | 衛生工学 | 819-0025 福岡市西区石丸3-6-12<br>勤:福岡市役所環境局            | ☎(092)711-4282                          | ✉(092)882-8431<br>Fx(092)733-5592 |
| 福岡 正会員 | 副島 泰信 | 建    | 設 818-0132 太宰府市国分1-9-16<br>勤:西技測量設計(株)          | ☎(092)712-1441                          | ✉(092)925-8225<br>Fx(092)712-1492 |
| 福岡 正会員 | 坊野 昭夫 | 建    | 設 810-0062 福岡市中央区荒戸3-1-41-601<br>勤:(株)青木建設九州支店  | ☎(092)431-7512                          | ✉(092)716-1682<br>Fx(092)472-1740 |
| 福岡 正会員 | 金子 恭  | 建    | 設 810-0031 福岡市中央区谷2-17-7<br>勤:(株)ミヤキヨウ          | ☎(0982)69-3158                          | ✉(092)751-7469<br>Fx(0982)69-2082 |
| 福岡 正会員 | 山下 伸二 | 建    | 設 815-0033 福岡市南区大橋3-5-543<br>勤:西日本技術開発(株)       | ☎(092)781-1454                          | ✉(092)512-3241<br>Fx(092)781-6748 |
| 福岡 正会員 | 江藤 芳武 | 建    | 設 819-0381 福岡市西区泉2-15-16                        |                                         | ✉(092)807-2336                    |
| 福岡 正会員 | 上村 洋司 | 建    | 設 816-0874 春日市大和町5-1-1 サンリヤンガーデン春日IV香館624<br>勤: | ☎(092)781-2833                          | ✉(092)513-5011<br>Fx(092)781-9569 |
| 福岡 準会員 | 松永 敬治 | 建    | 設 811-1362 福岡市南区長住5-11-11-403<br>勤:             | ☎(092)781-0259                          | ✉(092)561-3313<br>Fx(092)724-6529 |
| 福岡 準会員 | 大内田憲一 | 建    | 設 811-0112 粕屋郡新宮町大字下府9-1 コンフォート森C-206<br>勤:     | ☎(092)781-2831                          | ✉(092)781-1419                    |
| 福岡 準会員 | 水沼 道博 | 建    | 設                                               |                                         |                                   |

## ☆会員連絡先(住所) および勤務先変更

| (地区)   | (区分)  | (氏名) | (部門)                                                                                                         | (変更)           | (連:連絡先/勤:勤務先)  |
|--------|-------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----------------|
| 福岡 正会員 | 古賀 裕  | 建    | 設 勤:810-0064 福岡市中央区地行1-15-29<br>勤:西部建設(株) 顧問                                                                 | ☎(092)771-1782 | ✉(092)771-1769 |
| 福岡 正会員 | 弓削田耕一 | 水道   | 勤:812-0011 福岡市博多区博多駅前1-28-15<br>勤:福岡市水道サービスセンター 理事長                                                          | ☎(092)471-5500 | ✉(092)471-5502 |
| 福岡 正会員 | 小宮 信行 | 水道   | 勤:810-0001 福岡市中央区天神5-7-3 天神北ビル7F<br>勤:富洋設計                                                                   | ☎(092)781-0336 | ✉(092)781-8348 |
| 福岡 正会員 | 長崎 孝博 | 衛生工学 | 勤:814-0001 福岡市早良区百道浜2-1-22 福岡SRPセントービル6F<br>勤:九電工技術研究所                                                       | ☎(092)852-3407 | ✉(092)852-3408 |
| 福岡 正会員 | 小林 良一 | 機械   | 勤:810-0012 福岡市中央区白金1-17-1<br>勤:後藤産業 監査役                                                                      | ☎(092)531-2540 | ✉(092)531-6135 |
| 福岡 正会員 | 増田直一郎 | 建    | 設 勤:810-0064 福岡市中央区地行2-1-3<br>勤:極水設計(株)                                                                      | ☎(092)741-1518 | ✉(092)741-5215 |
| 福岡 正会員 | 長谷川盛一 | 建    | 設 勤:815-0084 福岡市南区市崎1-2-8-151<br>勤:杉田測量設計コンサルタント福岡支店                                                         | ☎(092)526-7937 | ✉(092)526-7938 |
| 福岡 正会員 | 當間 久夫 | 水道   | 連:202-0006 保谷市栄町1-12-24-8-302<br>勤:新日本製鉄(株)環境水道事業部                                                           | ☎(0424)22-2752 | ✉(0424)22-2752 |
| 佐賀 正会員 | 大坪 又造 | 建    | 設 勤:843-0023 武雄市武雄町昭和265番地<br>勤:佐賀県武雄土木事務所                                                                   | ☎(0954)22-4184 | ✉(0954)23-9763 |
| 佐賀 正会員 | 原田 彰  | 建    | 設 勤:840-2212 佐賀県佐賀郡川副町大字犬井道<br>勤:佐賀県佐賀空港管理事務所                                                                | ☎(0952)46-0150 | ✉(0952)46-0153 |
| 長崎 正会員 | 永濱 伸也 | 応用理学 | 連:811-1211 福岡県筑紫郡那珂川町今光9-4-1 ドルチェ12-403号<br>勤:812-0013 福岡市博多区博多駅東1-2-5 コルテ・リベルタスビル1-13<br>勤:藤永地建(株) 常務 福岡支店長 | ☎(092)952-6746 | ✉(092)452-2040 |
| 熊本 正会員 | 青山 次則 | 建    | 設 勤:862-8004 熊本市龍田町上立田5番地<br>(学校法人)九州測量専門学校校長                                                                | ☎(096)338-7417 | ✉(096)338-7468 |
| 宮崎 正会員 | 太田 義信 | 建    | 設 勤:880-0044 宮崎市大字瓜生野1712-1<br>(株)A.B.コンサルタンツ                                                                | ☎(0985)41-0676 | ✉(0985)41-0708 |

鹿児島 正会員 森原 稔 建 設 勤：890-0063 鹿児島市鴨池2-8-16  
 日本地研(株)鹿児島支店 ☎(099)206-2122 Fx(099)206-2062  
 福岡 正会員 田中 征夫 建 設 勤：884-0102 宮崎県児湯郡木城町椎木4246  
 九州電力(株)小丸川開発事務所 ☎(0983)32-4020  
 熊本 準会員 住田 元伸 生物工学 勤：860-0811 熊本市莊2-2-1  
 熊本大学大学院医学研究所 ☎(096)373-5135 Fx(096)373-5138  
 宮崎 準会員 小永吉秀男 建 設 連：880-0937 宮崎市京塚2-3-2 串間コーポ202  
 勤：880-0844 宮崎市柳丸町145-3  
 (株)弓場水工コンサルタント ☎(0985)28-9651 Fx(0985)23-5317  
 福岡 正会員 伊東 通陽 建 設 勤：810-0004 福岡市中央区渡辺通2-9-22 西鉄渡辺通ビル7F  
 西技工業(株)土木部 ☎(092)711-8811  
 福岡 正会員 山下 和博 農 業 連：816-0874 春日市大和町5-1-119  
 ☎(092)592-2009  
 福岡 正会員 久家 悟 建 設 連：819-1136 前原市美咲が丘1-13-20  
 福岡 正会員 中野 徳 建 設 勤：883-0021 日向市大字財光寺377  
 (有)山下測量事務所 ☎(0982)53-0280 Fx(0982)52-3439  
 福岡 正会員 梁木 英寿 建設水道 勤：812-0011 福岡市博多区博多駅前1-28-15  
 福岡市水道局 ☎(092)483-3194  
 宮崎 準会員 満留 耕 建 設 連：880-0943 宮崎市生目台西5-18-14  
 810-0041 福岡市中央区大名1-15-33  
 (株)千代田コンサルタント九州支店 ☎(092)752-1601 Fx(092)752-1631

## 逝去会員

(逝去年月日)

|        |     |     |       |         |
|--------|-----|-----|-------|---------|
| センター会員 | 金 属 | 北九州 | 右田 泰治 | 10.4.13 |
| センター会員 | 建 設 | 北九州 | 安田 與吉 | 10.5.27 |

謹んでご冥福をお祈りいたします。

## 中国の長持ち唄

田中 穂治

秋から初冬にかけて結婚式が多くなります。部下や親戚の結婚式に出席していると、司会者からいきなり、

「新婦の上司である××部長より、二人の前途を祝して一言」

など挨拶を求められたりすると、今日は専務も出席しているのでスピーチはそちらの筈ではなかったかと思っても後の祭、頭の中が真白で自分自身何を喋ったか分からなくなったり苦い経験あります。陳腐な人生訓などは白けるばかり、そこで私は、

中国の結婚式で三千年も謡い継がれていると言う、詩経の中の次の詩を披露することにしています。

桃之夭夭 桃のようようたる

灼灼其華 しゃくしゃくたり其の華

之子于歸 この子ここ(干)に嫁(帰とつ)がば

宜其室家 其の室家に宜しからん

(桃は若いよ、燃え立つ花よ、  
 この娘(こ)嫁ゆきゃ、ゆく先よから)

どんな節で歌われているかは知りませんが、嫁に行く娘を中国では目出たい桃の花に譬え祝っています。小皿でも叩いて陽気に歌っているのでしょうか。哀調を帯びた長持ち唄とは少々違う気がします。これなら4~5分間のスピーチはまず大丈夫。

## 御協力いただいている 賛 助 会 員

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                           |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| .....〔福岡〕.....                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 九州環境技術研究所<br>西日本技術開発(株)<br>(株)富士ピーエス<br>日本技術開発(株)                                                                                                                                                                                  | 協同エンジニアリング(株)<br>(株)日建コンサルト<br>東亜コンサルタント(株)<br>(株)弓場水工コンサルタント                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                           |
| 日本工営(株)福岡支店<br>昭和地下工業(株)<br>第一復建(株)<br>(株)松本組<br>(株)エスケイエンジニアリング<br>(株)東亜コンサルタント<br>(株)福山コンサルタント<br>(株)東京建設コンサルタント九州支店<br>東亜建設技術(株)<br>精巧測量(株)福岡支店<br>東邦地下工機(株)<br>大成ジオテック(株)<br>末永コンサルタント(株)<br>富洋設計(株)九州支社<br>九州建設コンサルタント(株)福岡支店<br>応用地質(株)九州支社<br>日本海洋コンサルタント(株)<br>九州事務所<br>(株)サンコンコンサル<br>芳野測量設計(株)<br>(株)橋梁コンサルタント福岡支社<br>(株)アイ・エヌ・エー九州支店<br>(株)九州地質コンサルタント<br>(株)タイヨー設計<br>三井共同建設コンサルタント(株)<br>九州支社<br>日鉄鉱コンサルタント(株)九州支店<br>(株)大建<br>(株)エム・ケー・コンサルタント<br>(株)エス・ピー・エンジニアリング<br>(株)アジア建設コンサルタント<br>新地研工業(株)<br>(株)カミナガ<br>(株)構造技術センター<br>平和測量設計(株)<br>基礎地盤コンサルタント(株)九州支社<br>(株)高崎総合コンサルタント<br>西日本コントラクト(株)<br>(株)マエダ九州支社<br>西鉄シーイーコンサルタント(株)<br>町田電気管理・技術士事務所<br>日本地研(株)<br>第一設計事務所 | (株)吾水総合コンサルタント<br>九和設計(株)<br>(株)押川測量設計<br>(株)都市開発コンサルタント<br>九州テクノリサーチ(株)<br>第一復建(株)北九州事務所<br>(株)松尾設計<br>(株)酒見設計<br>(株)太平設計<br>冷牟田設計コンサルタント(株)<br>土居工業(株)<br>山九(株)鉄鋼事業本部鉄鋼技術部<br>環境テクノス(株)<br>(株)日鉄エレックス<br>(財)北九州環境整備協会<br>(株)安川電機 | (株)テクノコンサルタント<br>南海測量設計(株)<br>九州特殊土木(株)<br>大洋測量設計(株)<br>九州建設コンサルタント(株)<br>西日本コンサルタント(株)<br>南武測量設計(株)<br>東洋測量設計(株)<br>.....〔宮崎〕.....<br>国土地質調査事務所<br>南日本総合コンサルタント(株)<br>(株)宮崎産業開発<br>(株)西田技術開発コンサルタント<br>(株)共和コンサルタンツ<br>(有)福島測量設計調査事務所<br>九州工営(株)<br>(有)久保測量設計コンサルタント<br>正栄技術コンサルタント(株)<br>(株)東九州コンサルタント<br>(有)日豊測量設計事務所<br>(株)水理設計<br>(株)ダイワコンサルタント<br>(株)杉田測量設計コンサルタント<br>(株)ジオセンターM<br>(株)都南開発コンサルタント<br>(有)山下測量事務所<br>.....〔鹿児島〕.....<br>朝日開発コンサルタント(株)<br>小枚建設(株)<br>(株)久永コンサルタント<br>コーツ工業(株)<br>大協(株)<br>新和技術コンサルタント(株)<br>(株)中村測量設計<br>(株)日峰測地<br>(株)大紀造園設計事務所 |                                                                                                                                                                                           |
| .....〔佐賀〕.....                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | (株)精工コンサルタント<br>新九州測量設計(株)<br>日本建設技術(株)<br>(株)九州構造設計<br>西日本総合コンサルタント(株)<br>新栄地研(株)<br>フジコンサルタント(株)<br>九州技術開発(株)                                                                                                                    | (株)日豊測量設計事務所<br>(株)水理設計<br>(株)ダイワコンサルタント<br>(株)杉田測量設計コンサルタント<br>(株)ジオセンターM<br>(株)都南開発コンサルタント<br>(有)山下測量事務所<br>.....〔長崎〕.....<br>大栄開発(株)<br>西日本菱重興産(株)<br>太洋技研(株)<br>(株)親和テクノ<br>扇精光(株)<br>西海地研(株)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | (株)ジオセンターM<br>(株)都南開発コンサルタント<br>(有)山下測量事務所<br>.....〔鹿児島〕.....<br>朝日開発コンサルタント(株)<br>小枚建設(株)<br>(株)久永コンサルタント<br>コーツ工業(株)<br>大協(株)<br>新和技術コンサルタント(株)<br>(株)中村測量設計<br>(株)日峰測地<br>(株)大紀造園設計事務所 |
| .....〔熊本〕.....                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | (株)九州開発エンジニアリング                                                                                                                                                                                                                    | (株)佐伯調査測量設計(株)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                           |
| .....〔大分〕.....                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                    | (株)松本技術コンサルタント(株)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                           |

## 展示会・コンベンション情報

九州地区開催をご紹介します。ご利用下さい

| (会名)                                              | (会期・会場)                                         | (照会先)                           |
|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------|---------------------------------|
| <b>— 10月 —</b>                                    |                                                 |                                 |
| 国際社会における環境保全と森林資源利用に関する<br>計量分析国際シンポジウム           | 10月5日(月)<br>シーガイア・ワールドコンベン<br>ションセンター「サミット」(宮崎) | 宮崎大学農学部<br>0985(58)2811         |
| テクノピア'98九州<br>オートテック                              | 7日(火)～9日(金)<br>福岡国際センター                         | 日刊工業新聞社西部支社<br>092(271)5715     |
| テクノピア'98九州<br>CAD/CAM/CAEシステムショー                  | 7日(火)～9日(金)<br>福岡国際センター                         | 日刊工業新聞社西部支社<br>092(271)5715     |
| テクノピア'98九州<br>九州・山口・沖縄ソフトウェア産業振興展                 | 7日(火)～9日(金)<br>福岡国際センター                         | 日刊工業新聞社西部支社<br>092(271)5715     |
| テクノピア'98九州<br>産業用ロボットコーナー                         | 7日(火)～9日(金)<br>福岡国際センター                         | 日刊工業新聞社西部支社<br>092(271)5715     |
| テクノピア'98九州<br>半導体産業用自動化機器コーナー                     | 7日(火)～9日(金)<br>福岡国際センター                         | 日刊工業新聞社西部支社<br>092(271)5715     |
| 西日本産業システムソリューション展                                 | 22日(木)～24日(土)<br>西日本総合展示場(北九州)                  | (財)西日本産業貿易見本市協会<br>093(511)6848 |
| 九州沖縄中小企業テクノフェア                                    | 22日(木)～24日(土)<br>西日本総合展示場(北九州)                  | フェア実行委員会<br>096(352)6134        |
| 九州・国際テクノフェア'98                                    | 22日(木)～25日(日)<br>西日本総合展示場(北九州)                  | (財)九州産業技術センター<br>092(411)7391   |
| 東九州メッセ                                            | 22日(木)～25日(日)<br>西日本総合展示場(北九州)                  | メッセ実行委員会<br>092(761)4261        |
| <b>— 11月 —</b>                                    |                                                 |                                 |
| 第5回中小企業先端技術展                                      | 25日(水)～27日(金)<br>北九州テクノセンタービル                   | (株)北九州テクノセンター<br>093(873)1408   |
| <b>— 99年 —</b>                                    |                                                 |                                 |
| 西日本国際福祉機器展'99<br>(People-to-People Communication) | 3月18日(木)～21日(日)<br>西日本総合展示場(北九州)                | (財)西日本産業貿易見本市協会<br>093(511)6848 |

## 会誌“技術士”最近の主要目次

### 平成10年7月号

- ・卷頭言 ミャンマーに想いをよせて/吉武進也
- ・ブラジル国サンパウロ州における環境技術の導入例/富田ゆきし
- ・電子金融決済システム/大脇文雄
- ・中国における技術指導と環境事情/酒井重男
- ・開発の定石/河島昭守
- ・下水道雑感/氷上克一

### 平成10年8月号

- ・卷頭言 日本技術士会の社会的信頼とメンバーシップ/保坂彬夫
- ・紙地図から電子地図へ/金澤敬
- ・電子ネットワークの活用を提案する/後藤昭夫
- ・高レベル放射性廃棄物の深地層隔離貯蔵に関する一提案/西村茂樹
- ・風力発電コンサルタントの役割/竹内肇
- ・牛の性周期の調節/平井輝生
- ・阪神・淡路大震災が設計現場へ与えたもう一つの破紋/垣内直

## 編集後記

35℃を超える暑さ、土砂降りの雨、今年は何か違う夏でした。世紀の終り。何か起こるのでしょうか。

今まで「技術士だより」は、田中、棚町両先生に原稿を打ち込んで戴いて頁を作っていました。大変なご苦労でしたが、今月号から、原稿植字から印刷まですべてを印刷工場に任せることにしました。初めての仕事で、改良したいところが山ほどありますが、号を重ねるうちにすっきりして行きたいと考えています。

また、まもなくインターネットが活躍始めます。さらに今年度支部特別委員会として業務開発委員会が設置されて、技術士業務活性化の道が開かれようとしています。「起こる何か」かもしれません。(完戸)

発行:(株)日本技術士会九州支部  
九州技術士センター  
〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街7-1  
(シック博多駅前ビル204)  
九州支部: ☎(092)432-4441  
Fax(092)432-4442  
センター: ☎/Fax(092)432-4443  
印刷:(株)川島弘文社